

里山だより No.21 2023年夏

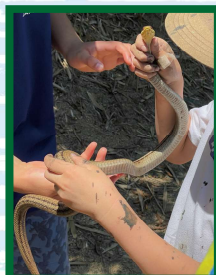
協力：NPO法人 こどもとむしの会（佐用昆虫館）

昆虫調査隊レポート

「オールナイトで虫とりイベント」の様子です。
灯りも電波もない・・・虫とりだけに集中です！



① 6月17日



集まったのは、兵庫県周辺在住の虫が大好きな8家族。
まずは顔合わせや石の寝屋緑地がどんなところなのかを
知るために調査隊が招集されました。
梅雨の合間の晴れ間の夕～5時間ほどで約70種類を確認！
虫の名前は、むし博士やこどもとむしの会スタッフが
その場で教えてくれます。
シマヘビ（虫ではないけど）もゲットしました。

② 7月25～26日

17:30の集合時間の前から虫とりに全力なメンバー。
集合後は陽が落ちるまでに各自わづらみシトラップをセットしに行ったり、
自分たちの寝床を作ったり・・・陽が落ちたら石の寝屋緑地は真っ暗。
ライトを照らして虫たちが飛んでくるのをひたすら待ちます。
その間、山の中に仕掛けたトラップを確認しに行ったり、虫が好きな
メンバー同士情報交換をしたり・・・（いつご飯を食べたのかな？）
夜中12時を過ぎると待っていたシンジュサンが飛んでき始めました。
去年試行イベントをした時も同じ時間に出現していたので、なぜ時間が
わかるのか・・・謎です。日付が変わっても小学校低学年の子供たちも元気に
走りまわっていましたが、さすがに3時を過ぎると大人も子供も静かに。
それでも朝5時ごろには少しずつ起床して、解散の9時まで名残惜しそうに
虫とりをしていました。今回のオールナイトで確認された虫は、約130種。
調査隊任務終了！！また来年もこの場所で任務が遂行できますように・・・。



明るいうちに仕掛けた
トラップにわづらみシ
がよってきてたのかな？



夜のメインイベント！
どんな虫が飛んできくるかな？

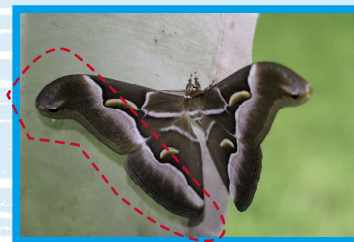


この時すでに夜中の12時半。
子供たちはまだまだ眠く
ないようです。



子供たちが待っていたのは「シンジュサン」！
それ以外の蛾もいっぱいまとっています。

シンジュサンとは？



ヤママユガ科の蛾の一種。
神樹蚕。
前翅長は110～140mm程度。
夜に活動する。
口吻自体が退化し摂食せず、
幼虫時代に蓄積された栄養（主に
山に多く生える木の葉）だけで
活動する。赤の点線の部分の柄は
まるでヘビの頭のようなリアルな模様。



羽化したての
アブラセミ。
羽が透けています。

あわじ石の寝屋緑地ではキャンプ、BBQなどは禁止されています。